

聖堂維持のためのチャリティーコンサート・シリーズ No.1

ヴィオラ・ダ・ガンバ コンソート音楽による クリスマス・コンサート

2017年 **12月24日(日)** 16:30~17:30

カトリック土浦教会

演奏：神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団

神戸愉樹美（トレブル） 小林瑞葉（テノール）

小澤絵里子（バス） 橋爪香織（バス）



プログラム

フランスのキャロル

J. テ・プレ

J.S. バッハ

水野 勉

クリスマス・メドレー

チャイコフスキー

お生まれだ、イエス様が！

アヴェマリア

いざ来ませ、異邦人の救い主

Hit two Gs（ひつじ）

サンタが街にやってくる

「くるみ割り人形」より

ほか

★入場料は献金でお願いします★

カトリック土浦教会

土浦市大町 9-6（JR 土浦駅より徒歩 15 分）

バスをご利用の方は、教会ホームページをご覧ください。

<http://www.catholic-tsuchiura.com/>

教会内は車の出入りが難しいので、お車でお越しの際は、
国道 6 号沿いの「茨城県信用組合千束町支店(千束町 5-4)」
の駐車場をご利用下さい。

お問い合わせ：029-857-8519（鈴木万里子）



★コンサート終了後、18:00よりクリスマス・イヴのミサがあります。何方でもご参加下さい。★

神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団

Yukimi Kambe Viol Consort

1983年に結成。ガンバの大小のサイズによる合奏には、16世紀から「融和した響き」があるとされてきた。その魅力を伝えたいと、古典曲では「個と調和」を、現代曲では「創造の世界」を繰り広げて、ジャンルを越えて柔軟に対応している。

発足以来、主催公演の他、'88年NHK・ETVクラシック・ステージ「栄光の弦楽器」、'92年京都国際音楽祭、'93年第3回聖イグナチオ教会建設募金チャリティー・コンサート、'94年富士見町教会第9回クリスマス讃美礼拝、'00年に米国ガンバ協会大会の演奏でセンセーションを巻き起こしたのを契機に、たびたび長期北米ツアーを行い好評を博している。最近では、'11年TBSTV「題名のない音楽会」、'16年J.ノット率いる東京交響楽団東京オペラ・シティ・シリーズ第91回に出演した。



その他、レクチャー、パーティー、子供向け等、東京をはじめ各地で公演。海外では独・仏・ベルギー、日本では旭川から宮崎まで各地で公演。演奏回数は450回を、初演曲は130曲を越える。CD、楽譜出版もある。<http://www.ykvc.jp>

メンバー

神戸 愉樹美 (かんべ ゆきみ) トレブル	バーゼル市立音楽院古楽科卒業 元国立音楽大学講師、フェリス学院大学音楽学部講師
小林 瑞葉 (こばやし みずよ) テノール	東京藝術大学音楽学部卒業、同大学院修士課程修了
小澤 絵里子 (おざわ えりこ) バス	フェリス学院短期大学音楽科卒業 東京古典楽器センター・池袋コミュニティカレッジ講師
橋爪 香織 (はしづめ かおり) バス	国立音楽大学卒業。元上野学園中学・高等学校講師 読売日本テレビ文化センター横浜・東京古典楽器センター講師

ヴィオラ・ダ・ガンバ とは

16-18世紀に西洋の宮廷、教会、家庭で愛好された弓奏擦弦楽器です。イタリア語でガンバとは脚のことで、バス(低音)、テノール(中音)、トレブル(高音)のサイズがあり、いずれも脚に挟んで構えるところから、ヴィオラ・ダ・ガンバと呼ばれます。腕に構えるヴァイオリン属とほぼ同時にありました。弦の本数が6~7本であることや、構造上の特徴から和音や調和した響きは得意ですが、古典派やロマン派の音楽には不向きな楽器として使われませんでした。19世紀の末より復興し、日本でも第二次大戦後に知られるところとなり、今日の古楽器ブームの先端を開きました。



日本にはキリシタン来日の1561年に伝わり、宣教師のルイス・フロイスやアルメイダによると、翌年大分では大友宗麟が宣教師の住院に招かれて昼食後に聞き、1581年に織田信長が安土のセミナリオで鷹狩の後に、1591年聚楽第で、豊臣秀吉が天正遣欧少年使節を接見した時に聞きました。